

C型肝炎撲滅に向けたセミナー ～透析室からHCVをなくす～

開催日時

2026年 8月 4日 (火) 19:00～20:00

開催形式

WEB配信 (Zoom Webinar)

登録URL

<https://abbv.ie/0804>

ウェビナーID : 946 4941 0020

パスコード : 0804



※本Webセミナーは医療機関に在籍する医療従事者向けのWebセミナーです。

「透析施設における肝炎対策 - 感染者ゼロを目指して -」

佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター
副センター長・助教

磯田 広史 先生

【本セミナーに関するお問い合わせ】

アッヴィ合同会社 スペシャルティ事業本部 肝炎・感染症領域事業部 肝炎撲滅推進部 福本敬二

Mail: keiji.fukumoto@abbvie.com



磯田 広史 先生

副センター長（肝疾患センター）・ 助教

【専門領域】肝胆膵 / 医療行政との連携

医学博士

日本肝臓学会専門医・指導医

日本消化器病学会専門医・指導医

日本内科学会認定内科医

【タイトル】

透析施設における肝炎対策 ― 感染者ゼロを目指して ―

【抄録】

透析患者におけるC型肝炎ウイルス（HCV）感染は、肝疾患関連予後のみならず、施設内感染対策の観点からも重要な課題である。近年、直接作用型抗ウイルス薬（DAA）の登場により、初回治療例では95%のウイルス排除率があり、治療対象とならない症例が限られるようになった。透析患者においてもHCVRNA陰性となれば、HCV感染対策は不要となるため、施設にとってもベット固定や隔離を行う必要がなくなることは大変有益であると考えられる。一方で、高齢化や多疾患併存、通院負担、専門医療機関受診への抵抗感などから、いまだ治療導入に至っていない症例も少なくない。

本講演では、透析施設におけるHCV診療の現状と課題について整理するとともに、肝臓専門医と透析施設との連携の重要性について述べる。特に、肝臓専門医が透析施設へ直接伺い診療支援を行うアウトリーチ型診療や、ICTを活用した連携など、患者・透析施設・専門医の負担軽減を意識した新たな取り組みについて紹介する。

透析施設におけるウイルス性肝炎対策は、疾病管理のみならず、院内感染対策、さらには患者に対する差別や偏見を防ぐ観点からも重要である。

「感染者ゼロ」を目標に、今あらためて各施設での治療適応や受診状況を見直し、地域全体でHCV eliminationを目指す契機としたい。